

巣籠囲碁大会

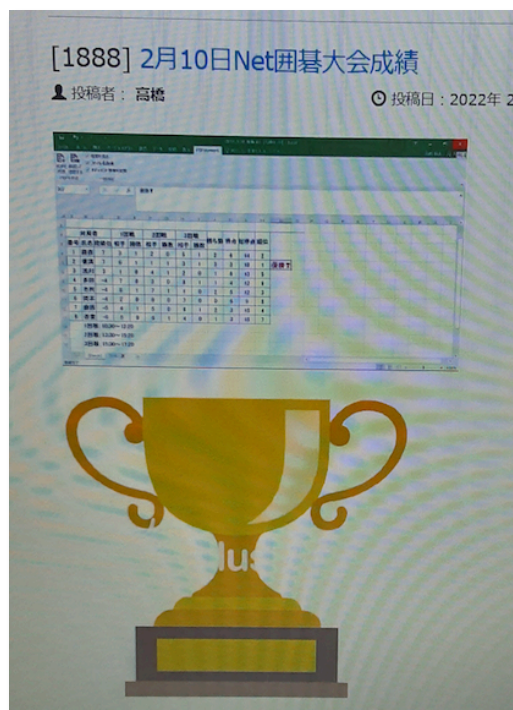
恩方囲碁同好会 岡本秀俊

新型コロナの感染が騒がれ始めてから 2 年が過ぎ、ウィルスも変化を始めてから今やオミクロン株と言う不可解なウィルスがはびこっておりますが、我々高齢者はどのように日々を過ごしていけば良いのか悩ましい限りです。本部の諸行事も中止となり同好会の例会も休会となっておりますが、そのような中でも囲碁を楽しみたいと言う囲碁バカ(失礼)の集まりを恩方囲碁同好会ではやっております。もちろん対面での対局は出来ませんので、以前ご紹介をしました Net 囲碁で楽しんでおります。

昨年度は水曜日に一日 3 局対戦をしてスイス方式で優勝者を決定していたしました。優勝者には会長の名前を冠して「藤森杯」と称し Net 上での優勝杯を授与するというおつなこともやっております。今年に入り新型コロナも第六波となり時間と暇とお金(?)を持って余している同好会諸兄の要望により、Net 囲碁大会のほかに「巣籠囲碁大会」を始めております。

参加者は 15 名程ですが土曜日の午後 1 時半と 3 時半からの 2 局を対戦し、1 ヶ月間の成績を集計して優勝者を決定し「藤森杯」を贈ります。時間と暇はたっぷりありますが、残念ながら一日 2 局打つには体力に自信のないというメンバーの為に 1 局だけの参加も OK としているのが恩方同好会の良いところであり懐の深いところだと私は自負しております。

事務局としては、楽しい大会とするために「待ったあり」の特例を設けようと考えましたが、パソコンのクリックを離すと打ち直しが出来ず残念ながら特例は諦めることとしました。私個人としては巣籠大会や Net 囲碁大会で勉強をして棋力を高め、コロナが落ち着き「生きいき大会」が再開した場合、連戦連勝をして級位が上がっていくことを夢見て大会に参加し楽しんでいるところです。早く対面での大会が再開できることを祈っております。成田滋八碁連会長からも優勝杯もしくは賞金が提供されるのではないかと期待をしております。



大会成績と藤森杯

(2022年2月15日)